

「令和５年度民間事業者と連携した空家活用促進事業業務委託（生野区）」に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1. 案件名称

令和５年度民間事業者と連携した空家活用促進事業業務委託（生野区）

2. 選定した契約締結候補者

空き家活用株式会社

3. 公募期間

令和５年４月26日から令和５年５月19日

4. 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（五十音順、敬称略）

委員氏名	役職等
田中 晃代	近畿大学 近畿大学総合社会学部 環境・まちづくり系専攻 教授
藤原 明	りそな総合研究所 リーナルビジネス部長
牧野 丹奈子	桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 教授

(2) 選定会議の開催日

- ・第１回 令和５年４月10日～令和５年４月19日（書面審議）
- ・第２回 令和５年６月６日

(3) 審査基準

評価項目	審査内容	配点
事業計画・方針	・ 本事業の目的等を十分に理解し、その実現に資する計画・方針が示されているか。 ・ 十分な専門的知識やノウハウ、企画力等を有し、本業務を効果的・効率的に行うことができる能力を有しているか。 ・ 具体的かつ実現性の高いスケジュールとなっているか。	20
企画内容	・ 具体的かつ実現可能な提案内容となっているか。 ・ 空き家の調査方法は適切か。 ・ データ保護、漏洩、紛失リスクが考慮されたサービス設計となっているか。 ・ 業務運営において、個人情報漏洩しないような運用設計となっているか。 ・ 空き家データをクラウド上で管理・閲覧共有できるシステムは、使いやすく効率的に業務を遂行できる内容となっているか。 ・ 空き家所有者等からの様々な相談に対し、ワンストップで利活用斡旋等問題解決を図ることができるか、また、その内容について具体的に示されているか。 ・ 生野区の地域特性を把握し、計画に反映しているか。 ・ 生野区の地域活性化・まちの魅力向上への貢献内容が具体的に示されているか。	40
実施体制	・ 事業を実施するのに必要かつ十分な人員配置となっているか。 ・ 事業実施に必要な専門性（空き家活用に関する専門知識、企画力、営業力、実践力）を有する人員を確保しているか。	20
実績	・ 同種の業務実施に関する豊富な実績を有しているか。 ・ 同種の業務実施の結果を踏まえて提案されているか。	10
経費	・ 事業経費見積額は、提案内容に対して適当な金額であるか。	10
合 計（委員 1 名あたり）		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

- ・空き家活用株式会社

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

評価項目	A社
事業計画・方針	38
企画内容	72
実施体制	40
実績	20
経費	20
合 計	190 点

5. 選定理由

- ・これまでの実績を踏まえ、実現可能性の視点から、空き家利活用を進めるうえでの課題や問題点を理解している。
- ・利活用の促進していく啓蒙活動のターゲット層が明確に示され実効性のある提案となっていた。

6. 附帯意見

- ・生野区の特性や特色の把握が不十分であるため、空き家調査にあたっては地域別に調査を実施し、地域の特性や実情を十分に把握していただきたい。
- ・区役所と連携して、所有者へのアプローチ方法の構築・確立を行っていただきたい。
- ・地域団体を始めとした生野区内で活動する団体の実態を把握して、地域団体等に協力していただけるよう信頼関係をつくってほしい。